



ミライロ ID

○「ミライロID」とは

株式会社ミライロが提供するスマートフォン用アプリで、お持ちの障がい者手帳の情報アプリ内に登録することで、手帳情報がスマートフォン画面に表示できるようになり、その画面を施設などで

提示することで、障がい者割引を受けることができます。

施設利用時などで障がい者手帳の替わりに利用できるほか、必要な配慮を記載する機能もあり、「ミライロID」の画面を提示するだけで、配慮事項を簡単に施設スタッフに伝えることができます。

○利用できる方

『身体障害者手帳』『療育手帳』『精神障害者保健福祉手帳』のいずれかの交付を受けている方。

○利用できる場所(一例)

・県有施設(福岡県青少年科学館、九州国立博物館、九州芸文館など多数)。
・公共交通機関、動物園、映画館、レジャー施設など。利用できる場所は、日々、広がっています。

○登録方法

・詳細は「ミライロID」ホームページをご覧ください。

QRコード⇒



障がいのある方への図書配送サービス

自力での外出が困難な障がいのある方を対象に、図書などをご自宅まで配送して貸し出すサービスです。

○利用できる方… 八女市に在住し、図書館への来館が困難で、『身体障害者手帳』『療育手帳』『精神障害者保健福祉手帳』のいずれかの交付を受けている方。

○申し込み方法… 八女市立図書館本館にお越しいただくか、電話、FAX、ハガキなどでご連絡ください。

○問い合わせ

八女市立図書館

住所:〒834-0031 八女市本町536番地3

電話:0943-22-2504 FAX:0943-22-8221

メール:library@city.yame.lg.jp

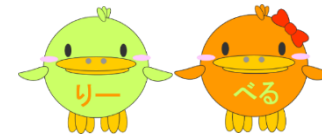


～編集後記～

一年の始まりを占うため、おみくじをひいてみました。

『願望…叶いにくいでしょう』『健康…悪いでしょう』『旅行…良くないでしょう』

『金運…損をするでしょう』散々なので、今年は大人しくしておこうと思います。(S・T)



リーベル通信



発行責任者:NPO法人リーベル

電話:0943-22-2610

FAX:0943-22-2664

住所:八女市本町17-2

E-mail:liber-yame@marble.ocn.ne.jp

URL:http://liber-yame.net



リーベルネットワーク全体研修会

『障がい者の陥りやすい消費者被害』

近年、消費者の脆弱性につけ込む悪質事業者の複雑化、巧妙化する手口により、消費生活相談全体の相談件数が減少傾向にある中、障がい者を当事者とする相談件数は依然として高い水準にあります。

障がい者が契約当事者の場合、知的障がいなどにより、本人が消費者被害に遭っていることを認識していないケースや、被害に遭ったと認識しても周囲の人に相談できないなどの理由から被害が表面化しにくく、周囲が気づくのが遅れるケースがあります。

障がい者の被害を防止していくには、法規制の強化や本人への啓発のみでは不十分であり、周囲で見守る多様な担い手が消費者トラブルに気づき、確実に消費生活相談窓口へつなげていくよう、見守りの担い手に対する周知、啓発を充実、強化していくことが重要です。

そこで令和4年度から、関係団体、機関が実施する高齢者等を見守る担い手を対象とし研修会や勉強会で「消費者トラブルの被害事例」「見守りによる被害防止事例」などを紹介する講師派遣事業があり、11月24日に立花市民センターのイベントホールにて、NPO法人消費者支援機構福岡専門部会員消費生活相談員の岡村文重氏に「障がい者の陥りやすい消費者被害について」の講演をいただきました。

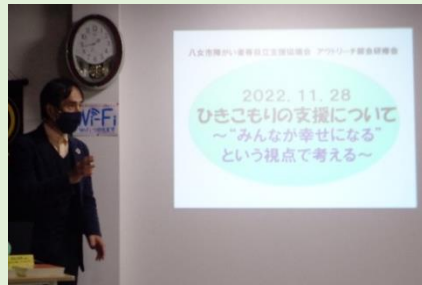
講演内容は①障がい者の消費者被害の状況②トラブル事例の紹介③トラブル時の対応④見守りのポイント⑤障がい者自身の消費者力の向上を目指すなどがあり最後は消費生活センターの説明がありました。

福祉事業所関係から行政関係まで38事業所41名の方の参加がありましたが、感想として「消費生活センターの職員と連携することがあり、人数が少なくお互いで役割を分担して利用者の生活を守るようにしているが、早期発見で相談することの大切さを学んだ」「障がい者の方だけでなく、自分たちにも起こりえることだと感じた」「日頃から利用者とのコミュニケーションを図り、トラブルへの気づき→声かけ→つなぐというポイントを意識していきたい」などの声がありました。

今回の研修は地域全体で消費者被害についてを考える機会とし、今後の支援に活かしていくことを再確認できた研修会となりました。

アウトリーチ部会 第2回研修会

11月28日に今年度第2回目の研修会を開催しました。



教育文化研究所の長阿彌幹生先生をお招きし、『ひきこもりの支援について～“みんなが幸せになる”

という視点で考える』をテーマにご講演いただきました。

講演では、現在の日本の競争主義、学歴主義、拝金主義を背景に若者の自己肯定感が低くなっていることやひきこもりは自己防衛として表れていることを教えていただきました。

その背景への理解を踏まえて、「今の時代を共に生きている仲間」として向き合うことができるか、真に耳を傾けることができるか、共感できているかと問われ、実践を反省的に振り返る機会となりました。

「原因を追究しない」「信頼して待つ」「ゆっくり・やさしく・何度でも」といった関わり方のエッセンスや、「もうこの人の支援はできない、したくない」と思う被支援者に出会った時は、自分に実力がないことを自覚する、実力のある人と一緒に支援する、当事者ご本人と向き合える人と一緒に関わるといった取り組み方まで具体的に示していただきました。

最後に伝えられた「私たちが目指すのは当事者やその家族の笑顔です！」というメッセージが胸に刺さりました。普段「課題解決型の思考」に偏り、固くなっている頭を柔らかくして、私たちは誰のために活動しているのかという原点を見つめ直さなければならないと思います。また個別の関わりや関係機関との連携の取り組みが「支援者が安心するための取り組み」にならないように努めていかなければならないと思います。

沢山の反省や気づき、なによりも元気を与えて下さった長阿彌先生ありがとうございました。行き話ったときはまた先生から元気をもらいたいと思います。また同じメンバーで再会できる日を楽しみにしています。

ペアレント・トレーニング、ティーチャーズ・トレーニング

今年度もペアレント・トレーニング1講座、ティーチャーズ・トレーニング1講座を修了しました。4年目の講座が終了し、少しずつ、地域に根付きつつあると感じています。参加された方の感想をご紹介します。



「ペアトレ」

・初めは、この現状をどうにかしたいと不安の中参加させてもらいました。いつも優しく、全てを誉める言葉で受け止めてくれる講師の先生方と、同じように子育てを頑張っている同志の方々と、一つずつ段階を踏んで学ぶ為、難しいことはなく、あっという間の2時間で、いつの間にか心のよりどころになっていました。(N.U)

「タイトレ」

・これからは子どもの行動をしっかりと注目し、好ましい行動が増える様、25%ルールを忘れずに子どもたちに接して行こうと思います。子どもたちにとって最良のサポーターになって行きたいと思えます。(N.S)

ちいきかつどうしえん 地域活動支援センター『かたろい』

2021年4月にオープンしてからもうすぐ2年が経過します。利用者さんの中には、『かたろい』へ通うことが日課になっている方もおられ、嬉しい限りです。

最近新しく利用登録される方が多く、見学も随時受け付けていますので、お気軽にお越しください。



洗車活動を通じて、仕事を行うための準備を行っています。

卓球は多くの人が利用されて盛り上がっています。

女性の会では月毎に様々なお菓子作りをしています。

ボランティアさんがコーヒーを煎れてくれます(不定期)。



食事イベントもあります。カレーは特に人気です。



そうだん 相談ビスケット(相談支援事業所連絡会)

奇数月に、相談ビスケットを開催しています。今年度は実践研究を3回実施しました。日々、関わっているケースで、困っているケース、振り返りたいケースなど、事例提供を頂き、参加者と一緒に、事例概要、事例への質問、困っていること、困っていることへの質問、アイデア出しの項目に分けて、ホワイトボードへ記載します。事例を深めるのではなく、アイデア出しに時間を割き、提供者への気づきを高め、アイデアの中からお気に入りの内容を選んで頂きます。約1時間のやり取りです。

事例検討になると資料作成の時間や労力もかなり必要ですが、ビスケットの取り組みは、少し軽い気持ちで事例提供をしてもらい、活発な意見交換を通して、事例提供者のみならず、参加者それぞれに気づきを得て頂いていると思っています。

毎日多数の計画作成に追われる中、一人事業所も多く、互いに連携、協力し合える風土をもっと強くしていきたいと思えます。

自粛生活の中で、発信、発見しづらい現状にありますが、障がい者が虐待を受けたり、受けている所を目撃した際はお電話ください。

★24時間・365日の対応

やめしようがいしゃぎゃくたいほう
八女市障害者虐待通報ホットライン
☎090-2580-0294

